

榎原市立図書館だより

平成20年10月20日発行  
第13号

# 榎の樹

## 特集:

読書の秋  
図書館フェスティ  
バル

## 目次:

特集1

2、3

図書館員の本棚

4

お知らせ

ポートレート

5

図書資料を充実させ  
るために

6



# 読書の秋

読書の季節の到来に合わせて、「図書館フェスティバル」をおこないます。子どもから成人の皆さんまで、幅広く図書と読書活動に親しんでいただければ幸いです。

## ◆こどもフェスティバル

人形劇「きつねのまんま」、「いたずらうさちゃん」と、紙芝居「空をとぶワンくん」を開催します。(人形劇団 京芸)  
11月1日(土) 午後2時～午後3時  
かしはら万葉ホール 5Fレセプションホール

募集 先着100名(市内在住の5～12歳の子ども。保護者は入場できません)

応募申込 10月7日(火)午前9時30分から図書館1Fカウンターで受け付けます。(電話申込み不可。申込み1組につき5名まで可)



## ◆特別貸出

読書の秋に合わせて、10月21日(火)～11月9日(日)の期間中、図書の特別貸出を行います。

貸出冊数 図書・雑誌についてひとり10冊まで(通常5冊)  
貸出期間 2週間(通常どおり)

\* 視聴覚資料については、通常どおりひとり2点まで、2週間とします



## ◆ストーリーテリング講習会(全5回)

講師 吉田熙子先生(ストーリーテラー)  
かしはら万葉ホール 4階視聴覚室  
10月3日(金)、10日(金)、10月17日(金)  
10月24日(金)、10月31日(金) 午前9時30分～

\* 受付を終了しました。

## ◆古レーザーディスクリサイクル

館内視聴用として使用していたレーザーディスクを、無料でお譲りします。(ただし枚数制限あり。希望多数の場合は抽選)

現物展示 11月1日(土)、11月2日(日)  
午前9時30分～午後4時30分  
図書館おはなし室

応募期間 11月1日(土)～11月9日(日)  
対象 市内在住者に限ります。

引き渡し 12月2日(火)～12月7日(日)

\* 消耗資料のため多少のキズがあります。ご了承ください。

## お知らせ

2F資料展示コーナーで、10月1日～11月末まで、山本一力先生の著作を含む時代小説特集「江戸の市井に生きる人々」をおこなっています。

◆ 直木賞作家 山本一力氏 講演会  
——直木賞作家が語る 人生と読書——

11月9日(日) 午後1時～午後3時  
かしはら万葉ホール ロマントピアホール

募集 800人 事前申込不要。当日午後12時30分より、先着順で無料入場券を配布します。

山本 一力(やまもと いちりき)

1948年、高知県生まれ。14歳で上京し、新聞配達をしながら高校へ通った。旅行会社や広告製作会社などで、様々な職業を経験する。事業の失敗による負債を挽回するために作家を目指すようになったエピソードは有名。1997年、「蒼龍」で第77回オール読物新人賞。2002年「あかね空」で第126回直木賞。「損料屋喜八郎始末控え」「いっぽん桜」「背負い富士」など時代小説の他、「家族力」などのエッセイも含め、著書多数。



「蒼龍」は、オール読物新人賞を受賞した表題作『蒼龍』のほか、『のぼりうなぎ』『節分かれ』『菜の花かんざし』『長い串』の5作を収めた短編集である。

江戸は深川冬木に住む大工の弦太郎、女房のおしのがあと3ヶ月で産み月を迎えるというのに、大きな借金を抱えてしまう…。表題作『蒼龍』は、まさに著者の生活を投影したとも言える作品である。

指物職人から老舗の呉服屋の手代となった男の話『うなぎのぼり』、大店ゆえの苦労か、頑ななまでに筋を押し通す商人魂…『節分かれ』、武家社会の理不尽さを描く『菜の花かんざし』、そして、『長い串』は、著者の郷里の高知、土佐藩の物語は、おでんが取り持つ武士の友情が胸に沁みる爽快な作品である。

時代小説ではあるが、そこに描かれているのは、日々汗を流して働き、人生における様々な苦難を乗り越えていく普遍的な人間の姿である。

時代がどんなに変わろうと、人間の営みは変わらない。5つの物語はすべて現代人の生活に通じている。職場でのパワーハラスメントに耐え続ける元職人、たとえ店が傾いても人と人のつきあいを重んじる大店の主人、命をかけて妻子を守る武士、立場や生業は違っても、苦難に直面したとき、ひとは、やはりひとによって助けられるのである。

食品擬装などの不祥事が相次ぎ、企業のモラルの低下が露呈している現代の日本ではあるが、これらの作品は、失われつつある“商い”の精神を思い出させてくれもする。人と人のつながりが希薄になり、家族の崩壊が否応なく進んでゆくことはあっても、夫婦や親子が、時には対立しながら、やはり深い絆で結ばれていて、結局それが救いになるのだということに思い至らせられる。(に)

No  
Image

蒼龍  
文藝春秋社  
文春文庫

No  
Image

あかね空  
文藝春秋社  
文春文庫

## 図書館員の本棚(4)

杉山 亮（すぎやま あきら）  
おもちゃ作家、児童書作家。1954年、東京生まれ。保父として各地の保育園、幼稚園に勤務後、手作りおもちゃ「なぞなぞ工房」を開く。「子どものことを子どもにきく」「昔屋話吉おばけ話」など、著書多数。

C・オーギュスト・デュパン、シャーロック・ホームズ、金田一耕助……。これまでも、名探偵たちが多くの読者を魅了してきました。けれども、私にとっての最も魅力的な探偵は、ミルキー杉山！ です。

「どんなときも名探偵」の主人公こそが、わがミルキー杉山です。探偵事務所を経営しているのですが、冴えない推理のせいで、事務所はもうひとつ繁盛していません。しかし、頼もしい仲間、聡明な奥さん、かわいい子どもたちに支えられ、なんとか事件を解決に導いてゆきます。

この主人公に出会ったのは小学生の時です。母と立ち寄った書店で、ふと手に取った本がきっかけです。最初は、流し読みしているだけだったのですが、いつの間にか、店頭であることもつい忘れて、主人公と愉快的仲間が織りなす推理の世界に没頭していました。「買ってあげるから、家で読んでちょうだい」ふと気が付くと、私の顔を覗き込んだ母が苦笑していました。

どこか憎めないミルキーの個性に加えて、この本のユニークなところは、絵に推理のヒントが隠されているところです。文脈だけでなく、視覚でも推理を楽しめるように、巧みに構成されています。ヒントを見逃さないように、慎重にページを繰り進めてください。

私が子どもだった頃には、3冊しか出版されていなかったこのシリーズも、今では11冊。なつかしさのあまり手に取ると、やっぱりおもしろい！ 子どもたちだけでなく、おとなの皆さんにも楽しんで頂けるのではと思います。犯人の見当がつくかどうか、子どもたちと競い合ってみてはいかがでしょうか。児童書だからといって、侮ってはいけません。底抜けの想像力・推理力をもった子どもたちのほうが優勢、と言う結果になるかもしれません。(か)

No  
Image

どんなときも名探偵  
偕成社

No  
Image

朝の連続小説  
仮説社

No  
Image

怪盗ショコラ アイスミルクは永遠に  
あかね書房

## ポートレート

様々な子どもの読書活動



市立小学校での人形劇開催

本を読むことに親しんでいない子どもたちも、劇や物語を鑑賞することは大好きです。



市立小学校での授業風景

子どもたち自身による「おはなし会」の開催。話者を体験することは、それまでとは違った視点で本と向き合うことにつながるのではないのでしょうか。



「子ども文庫」でのひととき

近所付き合いや見守りの延長として、子どもと本との出逢いを地域のおとなが手助けしていくことも大切ではないのでしょうか。

## お知らせ

### 1. 作品展示

「秋の薫り もめん細工と木目込み人形展」

10月1日より11月末まで、2Fカウンター前展示コーナーにおいて、作家辻本香祥先生と香祥会員による作品を展示します。

### 2. おはなし会のお休み

11月1日(土)についてのみ、「こどもフェスティバル」開催のため、お休みさせていただきます。「こどもフェスティバル」については、本紙2頁をご参照ください。



(七五三にちなんだかわいい木目込み人形)

## 檜原市立図書館

〒634-0075  
檜原市小房町11-5

TEL:  
0744-29-2121

FAX:  
0744-21-1011

http:  
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

### 編集後記

#### ローアングルの作家

車谷長吉さんが「赤目四十八滝 心中未遂」で直木賞を受賞した10年前、芥川賞は花村萬月さんの「ゲルマニウムの夜」だった。あの時、「純文学とエンターテインメントのクロスオーバー」ということが盛んに言われた。▼だが、そうした類別が、読者にとって重要であるとは限らない。授業や講義を受けるようにして、私たちは小説を読み解いているわけではないからだ。話の筋や場面展開の向こう側にかすんでいる作者という存在を、むしろ私たちは読み解こうと試みる。▼書かれている内容がフィクションであるとしても、その背後には、作者の経験や価値観、姿勢のようなものが濃厚に反映されるだろう。そしてそうした気配を本の中に察知した時、読者はその一冊に夢中になる。▼山本一力さんも、そうした意味で、多数の読者を持つ作家のひとりである。作品の多くは「時代小説」と呼ばれるものだが、その素晴らしい虚構を底支えているのは、貴重な経験の数々であるに違いない。▼母子家庭に育った山本少年は、本をねだることができず、図書館に通い詰めた。勤め人となり、大学の講義室ではなく、実社会の中で文学を習得した。来月の講演会でも、示唆に富む様々なお話が伺えるのではと期待している。(館長)

## 図書資料を充実させるために……

### (1) 新刊図書の寄贈

奈良あすかベンチャークラブより、10万円相当の図書の寄贈を受けました。

蔵書充実が特に望まれる児童図書や、市内公立学校や文庫に対して図書館が実施している団体貸出用図書に充当され、子どもたちの学習や楽しみに役立てられます。

目録の寄贈に訪れたベンチャークラブ代表。(7月30日 館長室にて)



自宅で眠っていませんか？

### (2) (予約が多い)下記の本の寄贈をお願いします

書き込み、汚れ、破損等のないものについて、寄贈をお願いします。

\* 手続きの都合上、直接ご来館の上ご寄贈ください。返却ポストへの投函はご遠慮願います。

書名	著者	予約が集中する本について
流星の絆	東野 圭吾	図書購入費に限りがあり、その一方で、多種多様な蔵書形成を行なう必要から、特定図書の複本を多数備えられないのが現状です。
ホームレス中学生	田村 裕	
夢をかなえるゾウ	水野 敬也	
おそろし	宮部 みゆき	
阪急電車	有川 浩	
陰日向に咲く	劇団ひとり	
ダイイング・アイ	東野 圭吾	
いっちゃん	畠中 恵	
地の日天の海	内田 康夫	
東京島	桐野 夏生	
私の男	桜庭 一樹	
恋空	美嘉	図書の現物寄贈について 事典、辞書、または法律や経済、科学に関するもの等、時事や社会情勢などの変化により、記載内容が公共図書館の資料としてふさわしくない場合、または図書そのものの劣化や摩耗が激しい場合は、受け入れられないことがあります。
氷の華	天野 節子	
食堂かたつむり	小川 糸	
おひとりさまの老後	上野 千鶴子	

当館における予約数ベスト15 (9月30日現在)

#### 表紙の写真

檜原市立図書館では読書活動を推し進めてゆくために、様々な催事を開催しています。夏休みに行った「親子手作り絵本教室」でのヒトコマ。物語や挿絵を創作することで、普段の読書とは違った形で、図書や読書に親しんでいただいています。